

2023 年度（春学期）経済学部  
ゼミナールガイドブック



COOL HEADS BUT WARM HEARTS  
ALFRED MARSHALL

明治学院大学経済学部

# 渥美 利弘 ゼミナール

## 演習のテーマ

応用ミクロ経済理論

## 演習の内容

経済学概論で学んだ内容の復習とその応用研究をします。中学・高校の数学の一部が必要です。問題演習を通じて、一つのことをじっくりと考え、議論することで、経済学的な発想を学んでいただき、経済モデルによる分析の面白さを学生の皆さんと分かち合いたいと思います。

私自身は最近ではサービス貿易、自動車貿易そして偽造品の問題などについて、経済学の視点から研究をしています。私の関心分野やこれまでの研究について、詳しくは下記に一覧がありますので参照してください。

<https://gyoseki.meijigakuin.ac.jp/mguhp/KgApp?resId=S000333>

## 井川 ジェニファー セミナール

### 演習のテーマ

Leadership in Literature

### 演習の内容

In this seminar, we examine the concept of Leadership through the experiences of characters in works of fiction. Our case studies are novels and plays.

During the first year, we will read and discuss works of fiction to help us consider what the characteristics of a good leader might be, why some leaders succeed and some fail.

Students are expected to read extensively in English to prepare for class. During class, students are expected to participate actively and enthusiastically. Students gradually assume responsibility for leading class discussion. Students are encouraged to consider questions that emerge from discussion as possible research topics. As students are expected to write short summary and response papers, there is also instruction in writing.

In the second year of the seminar, students will research and write a graduation thesis on a relevant topic of their choice. Students will continue to read outside of class. Classwork includes scaffolded instruction in thesis writing and the presentation of oral research reports. Students will be encouraged to provide and make use of peer feedback.

With a better understanding of the concept of Leadership, it is hoped that students will be better equipped to choose good mentors and become good leaders themselves.

# 生方 雅人 ゼミナール

## 演習のテーマ

企業財務・投資理論

## 演習の内容

ファイナンスはビジネスパーソンにとって世界共通の専門知識の1つであり、企業財務の知識や分析手法、ならびに投資理論の応用範囲はライフプランニングといった家計にまで及びます。

企業財務（企業金融、コーポレート・ファイナンス）では企業が企業価値の向上を目指し、ビジネスをおこなう上で必要な資金をどのように調達するか、資金をどの事業に投資するか、株主にどれくらい利益を還元するかといった意思決定について考えます。投資理論（インベストメント）では株式や債券、デリバティブといった金融商品の特徴や投資戦略について考えます。

本演習ではグループワークを中心に、企業財務と投資理論に関連する知識を一通り学びます。業界当てクイズ（財務諸表ベース）や投資のポートフォリオ・コンテスト、経済に関するものさしの調査、論文のサーベイなどをおこないます。また、データや資料を活用して情報を収集し、情報をまとめ上げる力を向上させるために、Excelを用いたデータ分析をします。そのほかに、先輩ゼミ生との懇談やゼミ合宿等があります。なお、演習の欠席は全体のモチベーションを著しく低下させるので、正当な理由のない欠席に対しては厳正に対処します。

このような流れでゼミ生はビジネス・財務について好奇心をもって臨めるようになる基盤を作り、今後のキャリアを意識し、キャリアで使える考え方やツールを身につけていきます。その他の情報についてはゼミ生による説明会等を参考にして下さい。

（注）21EG 生向け本ゼミの種別は B（一年間）となるので、4 年次演習・卒業論文はありません。

# 大野 弘明 ゼミナール

## 演習のテーマ

Financial Economics

## 演習の内容

### 【学習内容】

本演習では以下の二点を学びます。

- ・ファイナンスの標準的な内容を体系的に習得すること。
- ・コンピュータを用い、株価、利子率及び財務会計データなどの取り方、分析方法、データの解釈方法を習得すること。

### 【到達目標】

以上二点を習得することによって、『進路決定と卒業論文』を仕上げることを到達目標とします。

### 【ゼミでの2年間】

学生間の対話を重ねることを通じて得られるものは、上述の内容以上に大きな価値があると個人的に考えています。これまで懇親会、夏期・冬期ゼミ合宿、OBOG会などを実施してきました。企画から参加まで各学生に任せますが、ゼミの一員として積極的に参加し行動することを期待します。私もなるべく参加するようにします。

### 【OB・OGの進路】

卒業生は金融、不動産、建築、商社、アパレルなど多岐にわたって活躍していますが、銀行、保険会社、証券会社への就職比率が相対的に高いです。また、国内外問わず進学するという選択肢もあります。

### 【注意点】

本ゼミナールでは計算を避けて通ることが出来ません。現在出来ないことは全く問題としませんが、基礎から学習しますので徐々に慣れて下さい。ただし、高度な数学力を求めるというよりは金融経済に関する直観的な思考と理解を高めることに重きを置くつもりです。

# 加藤 木綿美 ゼミナール

## 演習のテーマ

経営組織論・経営戦略論

## 演習の内容

本ゼミでは経営組織論・経営戦略論を学ぶ。

3年生では経営組織論・経営戦略論の標準的な内容を体系的に習得することを目指す。理論の理解を深めるため、理論を実際の企業活動に当てはめながら企業分析とプレゼンテーションを行う。また、経営に関するテーマについてのGD（グループディスカッション）、実際の中小企業が有する経営課題に対する提案活動などを行う。

4年生は卒業論文の執筆を中心に行う。卒論では理論的アプローチの簡易的な流れとして、フィールド研究からの理論化に挑戦する。すなわち、問いに対する仮説を立て、実際の現場でフィールドワークを行うことで仮説検証を行い、そこから何らかの理論を見出すというものである。経営に関して各自が関心のあるテーマを1つ決定し、資料文献調査を行った上で、インタビュー調査・アンケート調査のいずれかから研究方法を選び、まとめてもらう。テーマ例は以下の通りである。

- ・新業態ビジネスの組織動態：日本における Airbnb シェアリング・エコノミーホストの成功事例
- ・組織市民活動における動機付け要因：オリンピックボランティア参画の意思決定事例
- ・組織の経済学におけるモニタリング費用の国際比較：USED ファッションの事例
- ・組織における慣性と変革：バー業態変化の制度派組織論的解釈

ゼミではディスカッションやプレゼンテーションの機会が頻繁にあるため、自主的に考え発言・行動ができる学生、当該能力の向上を希望する学生を歓迎する。また、進路に対して真剣に考え努力している学生を歓迎する。

# 小滝 秀明 ゼミナール

## 演習のテーマ

国際商取引論と実践的ビジネススキル

## 演習の内容

国際的な商取引における豊富な事例をもとに、全員が当事者の立場で議論して世界の第一線で通用するビジネス・経営のセンスとスキル、英語力を身に付けます。

毎回のゼミでは、様々なテーマでのロールプレイや会議、プレゼン、ディベートを通して、自然に司会・発言・質疑・問題解決などを体験できます。また、卒業生や業界の著名人ゲストを招いて多業種の事例や世界標準のビジネスの実情を学びます。

年間を通して4名の小グループで貿易商社を起業するビジネスプランを練り上げます。商材を決め、貿易相手国や販売・仕入先を定め、マーケティング戦略を考え、経費・資金繰りをマネージして決算書まで仕上げてみせます。自らが貿易商社を起業することで貿易と経営の両面を楽しく学べます。将来、起業はもとより部門経営、社内ベンチャー、子会社経営、独立開業などに活かせる実力を自然に身に付けられるわけです。

毎週のゼミではビジネスプランのプレゼンはもちろん貿易等に関する専門書を輪読して発表したうえで、全員で討議します。他大学ゼミとの共同研究や企業幹部を招いてのビジネスプラン発表会も行い、採用に繋がることも多くあります。

学生が自ら考え、体験・披露することに重点を置くのが我がゼミの特徴です。全員が何らかのかたちで毎週アウトプットして刺激し合いながら、世界が求める一流のビジネスパーソンを目指します。必ずや皆さんは「B ゼミでも一年でこれだけ成長できた」と驚き、将来への強みや自信を持てます。すでにゼミ生の多くが商社・金融・物流・観光・航空などの一流企業に進んで世界を舞台に活躍していることから、社会が我がゼミ生に寄せる期待の大きさが伺えます。

ゼミ第7期生よ来たれ、パッションを持って学び、世界から尊敬される一流になろう！

【小滝秀明：明治学院大学卒業、ロンドン在住 17 年、現在 レアメタル商社社長】

# 永井 裕久(NAGAI Hirohisa) ゼミナール

## 演習のテーマ

異文化マネジメントにおける人間の心理と行動

Human Psychology and Behavior in Transcultural Management

## 演習の内容

1. 将来、グローバルに働くために必要となる「異文化コミュニケーション」、「グローバルリーダーシップ」、「国際交渉力」といった人間の心理や行動について学びます。  
Study the topics such as “cross-cultural communication”, “global leadership”, and “international negotiation” which are the essentials for those who would like to work globally in the future.

2. 右図の5つの要素から構成される「課題解決のフレームワーク」を身に着けます。

Lean how to use “Problem Solving Framework”

① デザイン感覚：解決アプローチを設計する。

“Design Mind” to sketch your approach.

② 知的好奇心：原因を考える探究心を発揮する。

“Intelligent Curiosity” to anticipate the causes.

③ 情報収集：意味ある情報を見分けて集める。

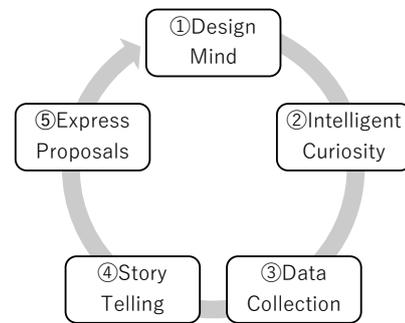
“Data Collection” to discover the relevant information. **Problem Solving Framework**

④ ストーリーテリング：解決に向けたシナリオ（戦略）を描く。

“Story Telling” to map out the solution scenario (strategy).

⑤ 提案表現力：効果的に提案を伝える。

“Express Proposal” effectively.



3. 文化や国境を超えてマネジメントできるよう、日英デュアルランゲージで学びます。  
Study the subjects in dual language to carry out the management across cultural and country borders.

4. 「学んだ知識」を「使えるスキル」にするために、ゼミプロジェクトを行います。  
Conduct seminar projects to convert “the learned knowledge” into “the practical skills.”

5. 最終的なゴールは、グローバルビジネスで活躍するための能力を身に着け、将来にわたり持続可能な自己学習能力（すなわち”How to do it”ではなく、“How to learn to do it”を学ぶ）を学修することです。

Final goal of this seminar is to adapt the competencies to take an active role in the global business and learn how to continuously brush it up by self-learning ability. (In other words, not learn “How to do it” but, learn “How to learn to do it”.)

## 西原 博之 ゼミナール

### 演習のテーマ

国際経営論、異文化マネジメント、中国、台湾などの華人経済圏における企業の経営管理

### 演習の内容

同演習の研究対象は、「国際経営」、「異文化マネジメント」、「企業の海外進出」「組織の国際化」、「グローバル人材育成」、「訪日観光関連ビジネス」など、いわゆる企業の国際経営活動の「アウト」と「イン」に関して理解を深めることである。

卒業論文のテーマはそれらに関する内容であれば可能である。演習では、国際経営に係わる知識を身につけて理解を深めることが目的である。したがって、演習を通して以下の能力を養う。

- 1) 情報機器を用いたプレゼンテーションの実践
- 2) 共同作業を通してレジュメ作成、報告を行うなど、プロジェクト管理能力の育成
- 3) ケース・スタディや実証研究を通して理論的な考察や分析能力の向上
- 4) 卒業論文の作成により、4年間、大学で学んできたことの集大成を行う。

演習では、以下の通りに進めていく。

第1に、国際経営に関する基本的な文献を輪読する。その際、少人数のグループごとにレジュメを作成して国際経営に関する基礎知識を養う。

第2に、国際経営に関する事例などを用いて討論を行う。その際、各グループが事前に課題を準備する。演習時間は、担当班が、プレゼンテーションを行った後、グループ間の質疑応答という形式で演習を進めていく。なお、事例に関連して、実証研究の方法論などについても触れていく。

第3に、卒業論文の執筆方法について、経済学部発行「卒業論文執筆の手引き」を用いて所定の形式を学ぶ。同時に、卒業論文のテーマの設定、フレームワークの作成、関連文献の収集及びまとめなどにより、設定した研究課題がふさわしいか、卒業論文にまとめられるかについて検証する。

卒業論文作成までの具体的な演習活動は以下の通りである。

- 1) 個々の研究テーマの設定（3年次の学期末に提出）
  - 2) 卒業論文タイトル及び研究計画について紹介（4年次、春学期）
- \* 報告、計画書の提出がなかった場合、秋学期の履修を許可しないことがある。
- 3) 中間報告（報告がなかった場合、卒論提出を許可しないことがある）
  - 4) 調査研究の結果についてのプレゼンテーション（卒論発表会など）
  - 5) 担当教員の許可を得た上で卒業論文を提出（年末までに原稿提出）

以上

# 藤田 晶子 ゼミナール

## 演習のテーマ

企業の開示情報とその分析 —投資意思決定における財務情報と非財務情報の有用性—

## 演習の内容

企業の財務報告にかかる国際的な開示制度や会計基準をしっかりと理解し、それをどのように分析に活用していくのかを調査研究する。また、将来予測に不可欠とされる非財務情報にも焦点をあて、財務情報と非財務情報の関係や、非財務情報の課題などについて、検討をくわえていく。

具体的には、主として、次の内容を考えている。

- ① 国際的な開示制度とそのもとの財務報告 ～情報と株価の関係
- ② 財務情報とその国際比較 ～J-GAAP と IFRS の差異
  - 財務情報から考える M&A の成否
  - 研究開発活動・広告宣伝費とその後の企業業績推移
  - ブランド力と企業業績 などなど
- ③ 非財務情報の役割と課題
  - ESG 情報の国際比較とその有用性
  - 人的資源に対する投資と企業業績
  - 統合報告書の役割とその分析 ～非財務情報と企業価値との関係
  - などなど

## 松園 保則 ゼミナール

### 演習のテーマ

Public Speaking

### 演習の内容

This seminar course focuses on public speaking of all kinds, aiming at helping students become a great speaker in public through theories and, most importantly, practice.

The main activities of this course are to learn about the basic principles of public speaking and the concepts of communication, and to explore how to apply these ideas in practice to make great speeches. Examples of these ideas are how to design a speech from the beginning, how to draw attention from audience while making a speech, and how great speakers effectively use different types of communication in their speeches. In addition, students observe and analyze several professional public speakers, which encourages them to find out their own ways to engage as a professional and confident speaker in public.

In every seminar session, students are expected to actively work on group and class discussions in English. And in some sessions, students are asked to make several speeches about any topics that they should like to share with others.

(注) 21EG 生向け本ゼミの種別は B(一年間)となるので、4 年次演習・卒業論文はありません。

# 山田 純平 ゼミナール

## 演習のテーマ

グローバル企業の分析と国際会計

## 演習の内容

本演習では、決算書を通じてグローバル企業の経営分析を行い、さらに会計基準の国際的な動向について学びます。その過程で、企業会計についての基礎事項について習得することになります。

グローバル企業の経営分析では、海外企業の決算書を分析し、それをもとに、どのような経営戦略をとっているかについて検討します。さらには、将来を予測して、企業価値の算定まで行う予定です。まずは、企業分析や企業価値評価について説明した本を読んだ後、各自が海外企業を分析し、その結果を報告してもらいます。

国際会計の分野では、ルールが国際的に収斂する一方で、各国でそのルールがバラバラに適用される傾向にあります。そこで、企業会計のルール全般を学べる教科書を題材として、国際的なルールの動向を学んだうえで、各国でそのルールがどのように適用されているかについて検討することを目標とします。

その他に、例年は他大学との研究報告会で報告をしてもらっています。共同で報告する作業を行うとともに、大人数の前で報告し質疑応答ができることを目的としています。3年秋学期に留学に行く学生については、研究会での報告は免除します。

最後に、これらの勉強の総仕上げとして、卒業論文を執筆することになります。1年間かけて論文を執筆することにより、論理的な思考力が鍛えられるので、卒業論文を執筆することを望みます。

会計士や税理士などの資格試験を勉強している人には、主としてOBやOGのなかから、試験に合格し、実務で働いている人を紹介して話を聞くようにしてもらいます。

# 大竹 光寿 ゼミナール

## 演習のテーマ

マーケティング、消費者行動、消費文化、ブランド

## 演習の内容

本ゼミナールの狙いは、ユニークな研究を行うことを通じて、学問を深めるだけでなく、社会に何らかの貢献をし、得たものを卒業後の活動に繋げることにあります。

取り上げる題材は、企業経営として「マーケティング」、経営環境として「消費者行動」や「消費文化」、そしてそれら2つを結びつける「ブランド」です。文化という視点からマーケティングと消費との関係を検討し、大企業のみならず、スタートアップ企業にも着目して、ブランド・マネジメントについて理解を深めていきます。

ゼミナールでは、個人研究とグループ研究を並行して行います。個人研究については、卒業論文として、自分にとって切実な問いを設定し、自分なりの答えを出す作業を行います。そのために、関連するテーマの研究論文や学術書、研究方法に関する文献を読みその内容をゼミ生らと共有・議論したり、フィールド調査に出かけたりします。また、研究成果をゼミで随時発表して、ゼミ OBOG を含む実務家からもフィードバックをもらい、研究を深めます。グループ研究に関しては、関心が近いゼミ生とチームを組んで、現場でブランディングに携わる方々と接しながら、社会に対して何らかの貢献ができるようなプロジェクトを企画・実行してもらいます（下記参照）。

こうした個人研究とグループ研究を通じて、実務の現場との接点を学生なりに見つけて、学問と実践を行います。合宿や大学外での活動などについて学生の意見を取り入れながら、良き学びと出会いの場となるよう、ゼミナールを作り上げていきます。課外活動や OBOG 会の運営などにも積極的に携わる学生の参加を期待しています。

※グループ研究のテーマ（一例）：各チーム（3名ほど）で秀逸なブランドを探して、ブランドブック（創業者、社長、職人、マーケター、取引先、顧客、ジャーナリストなど、そのブランドに関わる方々を実際に取材し、写真や文章などでブランドの本質をまとめた本）を作成する。そして、取材内容や共同プロジェクトの結果を社会に発信する。つまり、単に取材するだけでなく、自らコンテンツのマーケティングも行うことになる。取材を通じて実務家から学んでいるのでそれが活かせる。実務家や学者の本もそれに合わせて読み込む。協力先企業へのアポ取り、本社での企画提案のプレゼンも含めて学生主体で行う。学生の取り組み自体がメディアから取材を受け、取り上げられることもある。

・主な企業とブランド：アサヒ（玄米ブラン、カルピス）、クックパッド、SALASUSU、資生堂、D&DEPARTMENT、富士フイルム（写ルンです）、堀口切子、ミリメーター、森ビル

# 北浦 貴士 ゼミナール

## 演習のテーマ

日本企業の経営分析

## 演習の内容

このゼミでは、歴史的な視点をはじめとする様々な観点から、日本企業の経営を検討しています。ゼミ生同士が仲良くなり、居心地が良い雰囲気を作ることを最も重視しています。演習 A1・A2 では、教員が指定した日本企業の経営を事例にして、企業分析の方法を学びます。A3・A4 では、ゼミ生が設定したテーマに基づいて、卒業論文を執筆します。また、単位は付与されませんが、2022 年の秋学期に 8 回程度実施する予備ゼミを通じて、2 年生のうちに、ゼミのメンバーと親しくなることができます。

2023 年度の演習 A1・A2 では、オリエンタルランド（東京ディズニーリゾート）の経営分析を行います。パーク・アトラクション・フード・グッズ・キャストの 5 つのチームがあり、ゼミ生各自が 1 つのチームに所属します。各チームは 2 名の学生によって構成されます。また、2023 年度には、新エリアの開業と周年イベントを詳細に検討します。

演習 A1・A2 のコアとなる活動は、バックグラウンドストーリーの分析と体験学習です。各人が 1 つのアトラクションを担当し、その背後に隠されているバックグラウンドストーリーを分析することによって、その企業の世界観や経営理念を明らかにできます。公開ゼミで 3 年生が模擬発表を行う予定ですので、関心のある方は、是非ご参加ください。

体験学習は、1 泊 2 日の日程でパーク及びホテルで実施されます。コロナの状況によっては、日帰りでのパーク訪問のみで体験学習を実施します。2 年間を通じて、2 つのパークとパークに隣接する 2 つの主要ホテルを訪れます。体験学習の最大のメリットは、ゼミで初めて知り合った友人たちと素敵な思い出を作ることができることです。事前に、ゼミの授業内で、チームごとに話し合っ、調査内容を設定します。パークに赴き、実際に調査を実施した上で、各人が調査結果をゼミで報告します。公開ゼミにおいて、2021 年度に実施した体験学習による調査結果を報告する予定です。

その他にも、新聞記事を用いた分析、SWOT 分析などの経営戦略分析、アンケート調査、有価証券報告書を用いた財務分析などを順番に行なっていきます。これらの分析方法を知らない方や忘れてしまった方でも分析できるように、最初に各分析方法について丁寧に勉強した上で、実際の企業に当てはめて分析を行います。

このゼミでは、経営学に関する基礎的な理論をベースにして、実際の企業活動について、ゼミのメンバーと協力して考察を加えていきます。そのため、このゼミは、(1) チームのメンバーと協力して勉強したい方、(2) 理論より実際の現場に関心のある方、(3) 企業経営に関する基本的な分析方法を 1 から勉強したい方に向いているゼミです。

## 林 祥平 ゼミナール

### 演習のテーマ

組織行動論, 経営組織論, 人的資源管理論

### 演習の内容

本ゼミナールでは、組織・集団・人（そしてそのマネジメント）について学びます。組織も集団も人の集まりであるため、突き詰めれば本ゼミの関心は人そのものです。組織における人について心理学的アプローチから学び、深く考える目を養います。例えば、「どうして安い給料でもイキイキ働ける人がいるんだろう」「緊張感があつた方が頑張れるのはどうしてだろう」といった身近な疑問に目を向け、自分なりの答えを導き出し、説得力のある説明ができるようになることを目指します。

また、組織行動論はマネジメントの議論と表裏一体です。つまり、組織の中の人について学ぶ中で、「どうしたら従業員の強みを活かせるんだろう」「どうしたら仕事を楽しめるようになるんだろう」という管理の視点も大事にします。

3年次は、テキストの輪読とグループワークに取り組みます。テキストには、組織内の個人心理や集団心理を扱った本を使い、広く基礎知識を身に付けていきます。また各回のテーマに沿ってディスカッションをし、考える癖をつけていきます。グループワークは3-4人で組んでもらい、グループで決めたテーマについて学生が調べ発表し、議論します。4年次には、3年次の経験を活かして、各学生が興味のあるテーマを選び、卒業論文に取り組んでもらいます。

ゼミ合宿、他大学との交流など学生の意見を積極的に取り入れながらゼミ活動を行っていきます。本ゼミが学生にとってより良いコミュニティになるよう、自主的にゼミ作りに加わってくれる学生の参加を期待しています。